

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			専門職を含め基準以上を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			建物は市の基準に準拠している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			事業所内職員研修において周知し、実務、実践報告の振り返り等で生かしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者参加の療育形態のため、保護者の方から直接話を聞く機会を設けている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		県子ども医療福祉センターの訪問による実践指導を受けている。第三者評価機関による評価を検討中。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月例の所内研修、外部研修の受講等を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者の方との面談を踏まえた計画作成に努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			J MAP 感覚プログラム、LC スケール、S-S 法、WISC iv、KABC、T-B 等を実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	平日、親子療育の形態をとっており、長期休暇中も療育時間は同じであり、長期休暇等に応じた対応はしていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか				親子での通所のため学校への迎えや自宅への送りはない。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	事例なし			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	月2回親子通所のため、保護者との情報共有にとどめている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	事例なし			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			県こども医療福祉センター等の指導を得ている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	月2回親子療育のため他との交流には行っていない。保護者の意向もないものと理解しているが今後とも利用者の意向把握に努めたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			こども部会運営メンバーに参画するほか、他職員も部会主催研修会等に出席している。
保護者への説明責任等	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の療育後に情報交換を行うとともに、年間を通じ保護者勉強会を開催するなど共通理解の機会を設けている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			心理師、言語聴覚士、作業療法士、保育士による保護者勉強会、ペアレント・トレーニング、講話等を行っている。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			重要事項の説明をはじめ、必要に応じ見学機会等を設けている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			利用のたびに保護者面談を行っている。また、保護者勉強会の開催や随時の相談支援等を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子通所のため毎回保護者同士の交流機会が得られている。また保護者懇談会を開催している。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項説明時に苦情処理窓口について説明し、事業所内にご意見箱を設置している。本年度の利用者の方からの苦情はありませんでした。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		必要に応じ活動の目標や内容等について説明している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			職員は誓約書において秘密保持を確約し、書類等は鍵付きロッカーに保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		保護者の方の意向等を勘案し地域交流は行っていない。今後とも利用者の意向把握に努めます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員への周知を図ってきたが、保護者の方への周知には不十分さがあり徹底を図りたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		月2回の親子療育であり療育時間確保のため避難経路等の説明、図示にとどめているが、実地訓練の在り方を検討する。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			こどもの人格、個性尊重を運営理念に掲げ職員に周知するとともに所内研修を行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				該当事例はないが、身体拘束はしないことを原則としている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	事例なし			
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎事案ごとに報告書を作成し全職員回覧を行うとともに必要に応じ朝会等で口頭指示を行っている。